

# 高等学校 国語総合 古典編「改訂版」

- ご案内
- 教科書の特徴……………1
  - 古文編……………2
  - 漢文編……………4
  - 教科書ダイジェスト……………6
  - 指導書・教材……………22
  - デジタル教科書……………24

\*この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

国総 337

## 三省堂版 国語教科書

★印は平成29年度新刊, ☆印は平成30年度新刊です。

<p>★ 国語総合</p> <p>★ 国語総合 A5判/280ページ 国総 336</p> <p>★ 国語総合 A5判/192ページ 国総 337</p>	<p>★ 精選国語総合 A5判/400ページ 国総 338</p> <p>★ 明解国語総合 A5判/360ページ 国総 339</p>
<p>☆ 現代文B</p> <p>☆ 現代文B A5判/440ページ 現B 323</p>	<p>☆ 精選現代文B A5判/408ページ 現B 324</p> <p>☆ 明解現代文B A5判/372ページ 現B 325</p>
<p>☆ 古典B</p> <p>☆ 古典B A5判/260ページ 古B 333</p> <p>☆ 古典B A5判/184ページ 古B 334</p>	<p>☆ 精選古典B A5判/372ページ 古B 335</p>

<p>現代文A</p> <p>現代文A B5判/144ページ 現A 303</p>	<p>古典A</p> <p>古典A B5判/144ページ 古A 306</p>
---	---

- 高等学校国語総合編集委員
- 中列正 兵庫教育大学名誉教授
  - 岩崎昇一 東京都立国際高等学校
  - 赤井益久 國學院大学
  - 阿部公彦 東京大学
  - 安藤延明 高槻中学校・高等学校
  - 石村貴博 専修大学
  - 大高晃 上智大学名誉教授
  - 大島知史 中央大学附属中学校・高等学校
  - 風間誠史 相模女子大学
  - 小池保則 武蔵高等学校中学校
  - 小島昇 千葉県立富里高等学校
  - 齋藤 祐 中央大学杉並高等学校
  - 澤口哲弥 三重県立津西高等学校
  - 下山大介 駒場東邦中学校・高等学校
  - 杉山志津恵 公文国際学園中等部・高等部
  - 高野光男 東京都立産業技術高等専門学校
  - 瀧 康秀 清泉女学院中等高等学校
  - 田口かおる 東京都立豊多摩高等学校
  - 田中尚子 愛媛大学
  - 戸塚 学 常葉大学
  - 長尾直茂 上智大学
  - 中村ともえ 静岡大学
  - 奈良部真樹子 千葉県立船橋芝山高等学校
  - 早川香世 東京都立深川高等学校
  - 福家俊幸 早稲田大学
  - 細谷敦仁 東京都立戸山高等学校
  - 松下愛理 東京都立上野高等学校
  - 宮岡良成 会津大学
  - 宮川健郎 武蔵野大学
  - 安田正典 名古屋市立富田高等学校
  - 柳 宣宏 湘南白百合学園中学校・高等学校

★三省堂教科書・教材サイト  
<http://tb.sanseido.co.jp>

三省堂国語教科書



## 三省堂

- ☎101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
- 大阪支社 ☎530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06(6341)2177
- 名古屋支社 ☎460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F ☎052(953)9211
- 九州支社 ☎810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092(531)1531・1532
- 札幌営業所 ☎060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011(616)8722

# 高等学校

# 国語総合

# 古典編

# 「改訂版」



国総 337 A5判・192 ページ

古文 32 教材  
漢文 26 教材

## 教科書の編集方針

- 1 自ら学び自ら考える意欲を喚起し、国際社会に生きる言語力を養う。
- 2 ささまざまなものの見方、考え方に向き合い、視野を広げ、想像力や感性を磨く。
- 3 言語文化の諸側面を幅広く取り上げ、日本の伝統的な文化の今日的意義を知り、言語生活を豊かにする。
- 4 日常生活において論理的に表現する力を身につけ、高度なコミュニケーション能力を培う。

## 教科書の特徴

### 古文編・漢文編

### 古典の世界の深い理解へと誘う古文編・漢文編

- 古文は、中古・中世を中心に、国語総合で読んでおきたい作品を網羅して配列しました。さらに、大学入試を見据え、評論も豊富に収録しました。
- 漢文は、故事・漢詩・思想・文章・小説と、主要なジャンルの定評ある教材をそろえました。また、漢文を読む力を確実に習得するため、段階的な入門教材を設定しました。
- 豊富なコラムを設け、古典の知識や理解がより深まるようにしました。

### 指導書・教材

### 指導に役立つ資料と学習を助ける教材類

- 指導書には、教材研究や評価に活用できる資料はもちろん、ワークシート・テスト問題・補充教材などを豊富に収録しました。
- 「アクティブ・ラーニングのために」を新設し、主体的・対話的に学びを深める学習活動案を示しました。





◇古典を学ぶ意味について考えてみよう。

冒頭には、古典の魅力や今日的意義について述べた文章を配列。古典を学ぶ意味について考え、学習意欲が高められるようにしました。

## 古典を読むということ

たけにしひろこ  
竹西寛子

どんなに単純なことにも、たいてい複数の原因があつて、他との関係抜きでありえないのは大方の事物の運命であるらしい。人間とてもその例外ではなく、自分一個の生存を考えてもことは決して単純でない。

今をよりよく知ろうとして、今を今として成り立たせている過去を知ろうとするのは、少なくとも驕慢<sup>①</sup>でない人間の自然であり、それは、今後をいかに選択するかに直結しているという意味において生産的な行為のほうである。

実生活の具体的な様相や人間の心用い<sup>②</sup>のさまざまは、歴史書よりも物語のほうにずっと詳しいと言つたのは『源氏物語』の作者であつたが、日本人の歴史、ことに感受性の歴史をたどろうとするとき、なるほどその具体性において文学作品を超えるものはまずないといえよう。

歌においても、日記物語においても、そこに表されているのは一般的男女ではなく、よきにつけあしきにつけ、常に個々の特殊具体的な男女であつて、その男女の喜怒哀

楽の具体相こそ過去の日本人の感受性の手がかりなのである。たとえつくられた作中人物のそれでも、作者の認識の外ではない。作者は意識的に、あるいは無意識的に、同時代の人と生活を借りながら、自身の喜怒哀楽の効果的な表現をたくらむ。

したがつて、読者としては、物語の筋書きだけでなく、作者の感受性の法則にもあやかれるわけで、具体的な意匠<sup>③</sup>で共感や違和感を確かめながら、あわせて過去の日本人の分析、帰納<sup>④</sup>を行うことが可能になる。

文学というのは、人間のどのような状態も、素材である限り丸ごと容認される寛大な器である。ここでは理性も感性も対等な重みを与えられていて、主従の関係はない。文学にはあらかじめ拒否されるべき素材は何一つない。

ただし、それをどのように表現にまで高めるかに作者の存在が問われているのは、千年の昔も今も全く変わっていない事柄<sup>⑤</sup>と思う。そして、いい作品に、「力をも入れずして天地を動かし、目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、男女の仲をもやはらげ、猛き武士の心をも慰むる」(『古今和歌集』仮名序)<sup>⑥</sup> 効用のあることもまた、こう言つた紀貫之の時代と同じだと思ふのである。

古典を読むことの意味に、日本人の感受性の過去を知ることと言つてきたが、それは、日本語の歴史を知ることだと言いかえてもよい。日本語の今をよりよく知ろうと

① 驕慢 おごり高ぶつて他をあたふたすること。

② 『源氏物語』 平安時代中期に成立した物語で、日本の古典文学の最高傑作とされる。作者は紫式部。

③ 意匠 工夫、趣向。

④ 帰納 個々の事柄から一般的な原理や法則を導き出すこと。

⑤ 『古今和歌集』 九〇五(延喜五年、紀友則・紀貫之・凡河内躬恒・壬生忠岑によって撰進された最初の勅撰和歌集。

⑥ 紀貫之 八七二(貞観一四)年? (九四五(天慶八)年?)。歌人。『古今和歌集』の撰者の一人。「仮名序」を記した。

して、日本語の今を今として成り立たせている過去を知ろうとする、それは今後いかに自分の日本語を運用していくかに直結しうる行為である。

もつとも、認識と実行の隔たりは、「話す」「書く」において顕著なので、認識の強調はなんとなく気がひけるが、「読む」という全身の経験に基づく共感と違和感が、「話す」「書く」自分に与える侮り難い影響を思うと、たとえそれが、よくない言葉遣いに鋭敏に反応する言語感覚、言語認識の育成というほどのものであっても、私はそれを大切と思う。自分の言葉遣いのための法則を得ればそれにこしたことはないが、目的に走ると足をすくわれる。

古典は、初めから押し進んで読むべきものではあるまい。作者が喜怒哀楽を強調しているのだから、読者も自分の力に依じて素直に親しみ、反発していいと思う。反発することがあり、違和感をおぼえる部分があっても、優れた作品には必ずそれを上回る魅力がある。感嘆するばかり、という時期は、私の場合、まだ「要警戒」である。

素直な読みにだけ与えられる恩恵の大事を思うとき、「古言を知らずでは古意は知られず」と言った江戸時代の学者、本居宣長の姿勢が思い返される。「古の言葉」に「古の心」を語らせよう。それが宣長の古典学における基本的な立場であった。古典

5

10

15

⑦本居宣長 一七三〇（享保一五）年～一八〇一（享和元）年。国学者・歌人。日本の古典の研究に励んだ。

の一愛読者にすぎない私も、この姿勢の大事に思いついて久しいが、古文や古語に語らせるように読むことは決して易しくはない。

しかし、日本人の感受性の法則も、日本語のいい運用の法則も、語らせるように読もうとするときにだけ、ひらめきのように感知されるものだけというだけでは、いくら実感できるようになった。年老いて、時間ができたから静かに古典でもという人があるが、とんでもない。古典を読むには相当のエネルギーがいる。若さがある。根気がいる。

5

◆「今をよりよく知ろうとして……生産的な行為のはずである。」（6・4～6）とほぼ同じ内容で、古典を読むことの意義について述べている部分を探し、筆者の考えをまとめてみよう。

◆古典を読むことによって私たちは過去のどのようなことを知ることができるのか、またそれがどうして古典を学ぶ意味になるのか、話し合ってみよう。



竹西寛子

たけにしひろこ 一九二九（昭和四）年～。小説家。広島県の生まれ。作品に「蘭」「兵隊宿」などがある。本文は、『王朝文学とつき合う』によった。

古文は、国語総合で読んでおきたい作品を網羅して配列。筆者のものの見方や考え方がよく表れているものや現代と関連づけて読めるものを選んで教材化しました。

随筆

# 徒然草

兼好法師

参考●つれづれなるままに

\* つれづれなるままに、日暮らし硯すずりに向かひて、心にうつりゆくよしなしごとを、\*そこはかとなく書きつければ、あやしうこそものぐるほしけれ。  
(序段)

## ある人、弓射ることを習ふに

ある人、弓射ることを習ふに、<sup>①</sup>諸矢もろやをたばさみて的に向かふ。師のいはく、「初心の人、二つの矢を持つことなかれ。のちの矢を頼みて、初めるべし。

①諸矢 的に向かう時に作法として持つ、二本一組の矢。

矢になほぎりの心あり。毎度ただ得失なく、この一矢ひとやに定むべしと思へ。」と言ふ。わづかに二つの矢、師の前にて一つをおろかにせんと思はんや。懈怠けだの心、自ら知らずといへども、師これを知る。この戒め、万事にわたるべし。

道を学する人、夕べには朝あしたあらんことを思ひ、朝には夕べあらんことを思ひて、**★**重ねてねんごろに修しゆせんことを期まごす。いはんや一刹那③のうちにおいて、懈怠の心あることを知らんや。なんぞ、ただ今の一念において、ただちにすることのはなはだ難かたき。  
(第九二段)

**★**「重ねて」とはどのような意味か。  
③一刹那 ほんの一瞬という意味の仏教語。後出の「一念」も同じ。  
\*語句 おろかなり 期す  
いはんや

## 学習の手引き

文法を理解するための問いと内容を理解するための問いを教材に応じて段階的に設けました。

① 次の傍線部の助動詞の意味の違いを調べてみよう。

ア おろかにせんと(37・2)

イ 思はんや。(37・2)

ウ 朝あらんことを思ひ、(37・5)

② ア 一矢に定むべしと思へ。(37・1)

イ 万事にわたるべし。(37・3)

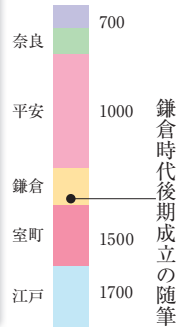
② 次のそれぞれの場合の「懈怠の心」について、具体的に説明してみよう。

① 「弓射ることを習ふ」(36・1) 人の場合。

② 「道を学する人」(37・5) の場合。

③ 筆者は「懈怠の心」についてどのように考えているか、まとめてみよう。

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期がわかるようにしました。



\*語句 つれづれなり 日暮らし  
そこはかとなし あやし

古典への理解を深めたり、現代との関わりを考えたりすることができるコラム「古典の扉」を随所に設けました。

旧暦の一月は現在の二月にあたる。一〜三月は早春・仲春・晩春とされ、その時々の風物を愛でた。月であれば仲秋の名月、すなわち八月十五夜（現在の九月の満月）が特に美しいとされた。

春（一〜三月）……梅、桜、うぐいす、春雨  
 夏（四〜六月）……橘、ほととぎす、螢、五月雨  
 秋（七〜九月）……紅葉、菊、月、鹿  
 冬（十〜十二月）……雪、霜、木枯らし、千鳥

## 古典の四季・美意識



かきつばた

人々はこれらの風物そのもののすばらしさだけではなく、それらを待ち望んだり惜しんだりする心の動きや、それらと重ね合わされる人の世のありさまなどに深い情趣を見いだした。例えば、『伊勢物語』「東下り」（25ページ）の「唐衣……」の歌は、「かきつばた」の花を見て詠まれた。これは初夏の花であるが、花を衣に擦りつけて染める染料でもある。衣服は妻が用意するものであったから、「かきつばた―衣―褌（妻）」と発想して、妻のいる都を遠く離れた「旅の心」を歌いあげ、それを聞いた人々もまた涙したのだ。豊かな想像力と繊細な感受性をもとにして、自然と人の世の情趣を理解する。そのような人こそが「心あらん友」（46・2）、「よき人」（46・6）とされたのである。

10

## 古典の扉

古の人々は、四季折々の風物を愛で、自然と深く関わって生きていた。『徒然草』「花は盛りに」に「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは。」（45・1）とあるように、雪月花はその最たるものである。兼好は『古今和歌集』を規範として培われた平安王朝貴族たちの美意識を愛したのだが、それはどのようなものだったのだろうか。まず、それぞれの季節を代表する風物をあげてみよう。

5

「文法から解釈へ」では、直前の教材を例に文法を解説し、文法を学ぶことで古典の理解が深まることを実感できるようにしました。

A 花は盛りに、月は隈なきをのみ見るものかは。  
 （45・1）

この文には「花は盛りのものだけを、月は曇らないものだけを見るものだろうか、いや違う。（それは当然だが、それ以外のものにも趣はある）」という兼好の美意識が表れている。ここから限定の副助詞「のみ」を抜くと、どうなるだろうか。

B 花は盛りに、月は隈なきを見るものかは。

「花は盛りのものを、月は曇らないものを見るものだろうか、いや違う。」――つまり、「満開の桜も照る月も見る値打ちがない」となり、Aとは全く異なる意味の文になってしまう。助詞は、単独で使われることのない、見た目は小さな単語であるが、書き手の思いを表す上で重要なはたらきを担っているのだ。

試みにAの文から助詞を全て取り去ると、次のようになる。

C 花 盛りに、月 隈なき 見るもの。

どれも自立語であるから単語の意味はわかるが、そ

## 助詞

れを並べただけでは、書き手の思いは伝わらない。

Aの文では、係助詞「は」で「花」と「月」とを他のものと区別して取り立て、格助詞「を」で「見る」対象を示し、副助詞「のみ」で見る対象を「花は盛りに」「月は隈なき」に限定し、係助詞「か」「は」で文全体を反語の文として「花は盛りに、月は隈なきをのみ見るもの」に対して疑義を呈している。このような助詞のはたらきがあつて初めて、兼好の思いが読み手に伝わるようになるのである。

我々もすべし細部を見落としがちであるが、全体を支えているのは目立たない細かい部分であることが多い。

10

## 文法から解釈へ③

\*次のアとイではどのように意味が異なるか、傍線部の助詞に注目して考えてみよう。

ア 一文字をだに知らぬ者、（51・12）

イ 一文字をのみ知らぬ者、

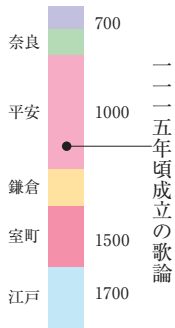


古典Bの学習や大学入試を見据えて、古文における評論的文章も豊富に取り上げました。

評論

# 俊頼髓脳

## 源俊頼



一一一五年頃成立の歌論

### 山吹の花

①道信の中将の、山吹の花を持ちて、上の御局といへる所を過ぎけるに、女房たち、あまたるこぼれて、「さるめでたきものを持ちて、ただに過ぐるやうやある。」と言ひかけたりければ、もとよりや、まうけたりけむ、くちなしにちしほやちしほそめてけり

と言ひて、さし入れれば、若き人々、え取らざりければ、奥に、伊勢大輔が候ひけるを、「あれ取れ。」と宮の仰せられければ、承りて、一間がほどを、みざり出でけるに、思ひよりて、

こはえもいはぬ花のいろかな  
 とこそ、付れたりけれ。これを、上聞こしめして、「大輔なからましかば、

恥ぢがましかりけることかな。」とぞ、仰せられける。  
 これらを思へば、心疾きも、かしこきことなり。心疾く歌を詠める人は、なかなか、久しく思へば、悪しう詠まるるなり。心おそく詠み出だす人は、すみやかに詠まむとするもかなはず。ただ、もとの心ばへにしたがひて、詠み出だすべきなり。

### 学習の手引き

一次の傍線部の敬語の種類を答え、誰への敬意か説明してみよう。

- ①伊勢大輔が候ひける (88・5)
- ②宮の仰せられければ (88・6)
- ③上聞こしめして (88・9)
- 二「こはえもいはぬ花のいろかな」(88・8)の句のおもしろさはどこにあるか、話し合ってみよう。
- 三「心疾きも、かしこきことなり。」(89・2)とは、伊勢大輔のどんなところを評したのか、説明してみよう。

### 俊頼髓脳

### 源俊頼

歌論。筆者は源俊頼。一一一五(永久三)年頃成立。関白藤原忠実の依頼により、その娘のために作歌手引き書として著述された。和歌の種類、歌病、技法、歌語等について広く述べるとともに、多くの歌説話を記載するなど、作歌のための実用書としての具体的な内容に主眼が置かれている。本文は『新編日本古典文学全集』によった。

一〇五五(天喜三)年?〜一一二九(大治四)年。歌人。『金葉和歌集』の撰者。新鮮な感覚と大胆で自由な歌風を個性とし、藤原俊成・定家らに影響を与えた。勅撰和歌集への入集は二百首余りである。家集に『散木奇歌集』がある。

5

\* 語句 ただなり まうく みざる  
 付く 聞こしめす 恥ぢがまし  
 なかなかかなり 心ばへ

- ⑥伊勢大輔 平安時代中期の女流歌人。一条天皇の中宮彰子に仕えた。
- ⑦宮 中宮。
- ⑧一間 柱と柱の間一つをいう。
- ⑨上 天皇。

- ①道信の中将 藤原道信(九三二〜九四四)。平安時代中期の歌人。藤原為光の子。
- ②山吹 晩春に黄色い花をつける。
- ③上の御局 上局の敬称。上局は、后妃が常の局の他に、天皇の御座所近くに賜る部屋。
- ④みこぼれて はみだし座っていて。「ただに過ぐる」とはどういうことか。
- ⑤くちなしに…… 「梔子」の実から染めた「くちなし(色)」に、無言の意の「口無し」を掛ける。「山吹の花色衣主や誰問へど答へずくちなしにして」「古今和歌集」俳諧歌・素性法師)などをふまえる。「ちしほ(千人)」「やちしほ(八千人)」は布を染料に何度も浸けて染めること。

# 漢文の構造と訓読の仕方

漢文の入門教材では、漢文の基礎構造や、送り仮名や返り点などの訓読に欠かせない知識や記号をきちんとおさえ、漢文を読む力が確実に身につくようにしました。

## ……漢文の基本構造 一……

漢文において、文を構成する漢語の役割は語順によって決定され、日本語の文章のような助詞（テニヲハ）や活用語尾はない。日本語の語順と同じ構造の場合でも、語と語との関係を明らかにするために、助詞や活用語尾を「送り仮名」として補って訓読することが必要になる。

- 1 花開ハナキ 〔主語―述語〕
- 2 白雲 〔修飾語―被修飾語〕
- 3 風雨 〔並列〕

花開ハナキ鳥啼トリナ。花開き鳥啼く。  
 大器オホキ晚成オソナ。大器は晩成す。（大器↓大器 晩成↓晩成）  
 行雲ユキ流水ルシル。行く雲流るる水。（「行雲」と「流水」は並列）

## ……漢文の基本構造 二……

漢文の構造では、原則として述語が目的語などの前にくる。したがって、日本語の文章と語順が異なるので、まず主語を読み、次に目的語などを読み、最後に述語に返って読むことになる。また、「不」「無」「有」のような語は、必ず下から返って読まなければならない。返って読む順序を示す符号を「返り点」という。返り点には、レ点、一・二点、上・下点などがあり、漢字の左下に添える。

- 4 我ワ 〔主語―述語―目的語〕
- ① 我レ 〔主語―述語―目的語〕
- ② 書カキ 〔主語―述語―目的語〕
- ③ 讀ヨミ 〔主語―述語―目的語〕
- ① 啼ナ 〔述語―目的語〕
- ② 鳥トリ 〔述語―目的語〕
- ③ 聞ク 〔述語―目的語〕
- ① 曉トモ 〔否定を示す語―述語―目的語〕
- ② 覺トモ 〔否定を示す語―述語―目的語〕
- ③ 不ズ 〔否定を示す語―述語―目的語〕

- ② 転マ 禍ワザひを転じて福と為す。
- ① 禍ワザ 〔主語―述語―目的語〕
- ④ 為ナ 〔主語―述語―目的語〕
- ③ 福ト 〔主語―述語―目的語〕
- ③ 尽ツクシ 人事を尽くして天命を待つ。
- ① 人ヒト 〔主語―述語―目的語〕
- ② 事コト 〔主語―述語―目的語〕
- ⑥ 待マツ 〔主語―述語―目的語〕
- ④ 天アメ 〔主語―述語―目的語〕
- ⑤ 命イナヒ 〔主語―述語―目的語〕

### ●漢語の構造

漢語の構造は、次の五種類が基本となっている。どのような構造か考えてみよう。

- ① 日没 地震
- ② 善人 博愛
- ③ 飲食 善悪 人民 金銀
- ④ 成功 即位
- ⑤ 不正 非常 多欲

この構造は、そのまま漢文の構造につながっている。

### ●送り仮名のつけ方

- ① 漢字の右下に、小さく添える。
- ② 片仮名を用いる。
- ③ 古典文法に従い、歴史的仮名遣いを用いる。

### ●返り点の種類と使い方

- ① レ点 下の一字から、すぐ上の一字に返って読む。
  - ② 一・二点 「一」を付した字から、二字以上を隔てて、「二」「三」と上に返って読む。
  - ③ 上・下点（上中下点） 一・二点を付した句を間に挟んで、下から上に返って読む。
  - ④ 「レ」「上」「下」 まずレ点で返り、次に一・二点、また上・下点に従って読む。
- ※返って読む字が熟語のときは、その熟語の中間に堅点（合符。今日ではハイフンの印。）を引き、その中間に返り点をつける。
- 〔例〕遊ウ学ガク 京 都。

### ◎練習問題

1 次の文を訓点に従って読んでみよう。

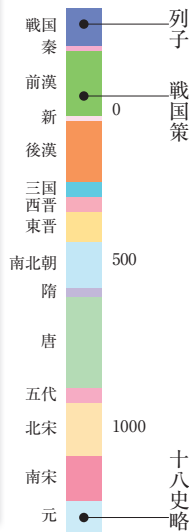
- ① 有レ備ヘ無レ患ウレ。
- ② 低タシ頭カウ思シ故コ郷キョウ。
- ③ 不レ知シ其コノ人ヒト視ミ其コノ友トモ。

故事成語

# 借虎威

漢文は、主要なジャンルの定評ある教材を配列。図版や資料を配置したり、内容理解のポイントとなる問いや句法を脚注欄に示すなど、漢文の読解を助ける工夫を随所に凝らしました。

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期や作者の活動時期などがわかるようにしました。



虎求<sub>二</sub>百獸<sub>一</sub>而食<sub>レ</sub>之。得<sub>タリ</sub>狐<sub>ヲ</sub>。狐曰<sub>一</sub>子無<sub>カレ</sub>敢<sub>ヘテ</sub>食<sub>ラフ</sub>我<sub>ヲ</sub>也。<sup>②</sup>天帝使<sub>ム</sub>我<sub>ヲ</sub>長<sub>シ</sub>百獸<sub>ニ</sub>。今<sub>ニ</sub>子食<sub>ラハバ</sub>我<sub>ヲ</sub>、是<sub>レ</sub>逆<sub>ラフ</sub>天帝<sub>ノ</sub>命<sub>ニ</sub>也。子以<sub>レ</sub>我<sub>ヲ</sub>為<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>信<sub>ナラ</sub>、吾<sub>ハ</sub>為<sub>レ</sub>子<sub>ノ</sub>先<sub>ニ</sub>行<sub>セ</sub>。子隨<sub>シテ</sub>我<sub>ガ</sub>後<sub>ニ</sub>觀<sub>ミヨ</sub>。百獸之見<sub>レ</sub>我<sub>ヲ</sub>、而敢<sub>ヘテ</sub>不<sub>レ</sub>走<sub>ラ</sub>乎<sub>ト</sub>。虎以<sub>レ</sub>為<sub>レ</sub>然<sub>シカ</sub>。故<sub>ニ</sub>遂<sub>ニ</sub>与<sub>レ</sub>之<sub>レ</sub>行<sub>ク</sub>。獸見<sub>レ</sub>之<sub>ヲ</sub>皆<sub>レ</sub>走<sub>ル</sub>。虎不<sub>レ</sub>知<sub>ラ</sub>獸<sub>ノ</sub>畏<sub>レ</sub>己<sub>ヲ</sub>而走<sub>ル</sub>也。以<sub>レ</sub>為<sub>レ</sub>畏<sub>レ</sub>狐<sub>ヲ</sub>也。

(戦国策)

①子 あなた。

②天帝 万物をつかさどる天の神。  
③今 もし。仮に。

④遂 そのまま。  
★「之」は何を指すか。

文法や漢字について理解を深める問いと内容を理解するための問いを設けました。

## 学習の手引き

一 次の文を書き下し文に改め、口語訳してみよう。

①子無<sub>カレ</sub>敢<sub>ヘテ</sub>食<sub>ラフ</sub>我<sub>ヲ</sub>也。(108・1)

②敢<sub>ヘテ</sub>不<sub>レ</sub>走<sub>ラ</sub>乎。(108・4)

二 「観」(108・3)と「見」(108・4)の意味の違いを説明してみよう。

三 「虎の威を借る」は、現在どのような意味で使われているか、調べてみよう。



『成語故事』より

\*無<sub>カレ</sub>敢<sub>ヘテ</sub> [A] [B] 決して[A]するな。

\*使<sub>ム</sub> [A] [B] [C] [A]に[B]させる。(使役)

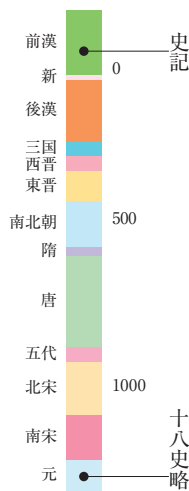
\*不<sub>レ</sub> [A] [B] (し) ない。(否定)  
\*敢<sub>ヘテ</sub> [A] [B] 乎 どうして[A] (し) ないでしょうか、いや、きっと[A]する。(反語)

\*以<sub>レ</sub> [A] [B] (である) と思つた。

史話

# 先從隗始

史実と文学的創作とが交錯する史話を豊富に採録。文章表現の巧みさや登場人物の描かれ方に着目して、漢文のおもしろさを存分に味わえるようにしました。



戦国時代中期、「戦国の七雄」に数えられていた燕は、君主噲の失政によって混乱状態にあった。齊はその隙をついて攻撃をしかけ、すでに国政を投げ出していた噲を殺害した。紀元前三二四年のことである。

燕人立太子平為君。是為昭王。弔死問生、卑辞厚幣、以招賢者。問郭隗曰：「齊因孤之国乱而襲破燕。孤極知燕小不足以報誠得賢士与共和国、以雪先王之恥、孤之願也。先生視

- ①昭王 在位は前三二一年～前二七九年。
- ②弔死問生 戦死者を弔い、生存者や遺族を慰める。
- ③卑辞厚幣 へりくだった言葉を使い、多くの贈り物を用意する。
- ④郭隗 燕の人。
- ⑤孤 王侯の謙称。
- ⑥報 仕返しをする。
- ⑦与共和国 国政を一緒に行う。
- ⑧先王 昭王の父で、殺害された噲を指す。

可者得身事之。

隗曰：古之君有以千金使涓人求千里馬

者。買死馬骨五百金而返。君怒。涓人曰：死馬

且買之。況生者乎。馬今至矣。不期年千里馬

至者三。今王必欲致士、先從隗始。況賢於隗

者、豈遠千里哉。於是昭王為隗改築宮、師事

之。於是士争趨燕。

(十八史略)

## 学習の手引き

- 一 この話における「千里馬」(131・2)、「死馬」(131・3)とは、どのような人物を指しているか、説明してみよう。
- 二 郭隗の弁舌の巧みさはどういう点にあるか、まとめてみよう。

三 「隗より始めよ」は、現在どのような意味で使われているか、調べてみよう。

⑨可者 ふさわしい人物。  
★「古之君」で始まる郭隗のたとえ話はどこまで続くか。

⑩涓人 君主の近くにいる、その身のまわりの世話をする人。

⑪千里馬 一日に千里を走るほどの名馬。

⑫期年 一年。

⑬致 招く。  
★「先從隗始」とは、具体的にはどういうことを求めているのか。

\*A「且B」況C乎 AでさえBである。ましてCならなおさらBだ。〔抑揚〕

\*A「於B」 BよりもA(だ)。

\*「比較」 豈A哉 どうしてA(しよう)か、いやA(し)ない。〔反語〕



指導書

本体価格二一、〇〇〇円（税別）

※「現代文編」「古典編」で別売になります。

指導資料

教材研究に役立つ資料や、実際の授業や評価で活用できる情報を豊富に掲載しています。

発問例集

指導資料に掲載した発問をまとめたデータを収録しています。

ワークシート

- 構成・内容理解シート
- 語句・漢字学習シート
- 古文品詞分解シート
- 漢文書き下し文シート
- 古典口語訳シート

基本テスト

短時間で基礎を養う小テスト。現代文編では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

評価問題

定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。

実力問題

教科書の教材と同じ著者の作品や、別の著者による同じテーマの文章などを素材にした実力問題を豊富に収録しています。

補充教材

教科書の教材に関連する資料や、発展的に読むことができる作品などを収録しています。

教科書原文

教科書教材文の原文データを収録しています。

朗読CD

一部の教材について、朗読を収録した音声CDです。

漢文エディタ

訓読文や漢文テストの問題文を編集するためのソフトです。

学習課題ノート

別売の生徒用教材『学習課題ノート』のデータを同梱しています。

教師用教科書

教科書の紙面に、文章構造や要約、口語訳や文法の解説、「学習の手引き」の解答例など、授業に役立つ情報を青字で刷り込んだものです。

指導書別売品

■ 教師用教科書 本体価格三、〇〇〇円（税別）

指導書の「教師用教科書」と同じものです。

■ 指導資料PDF版 本体価格五、〇〇〇円（税別）

※「現代文編」「古典編」が一つになっています。

指導書の「指導資料」の紙面をPDFデータにしたものです。

生徒用教材

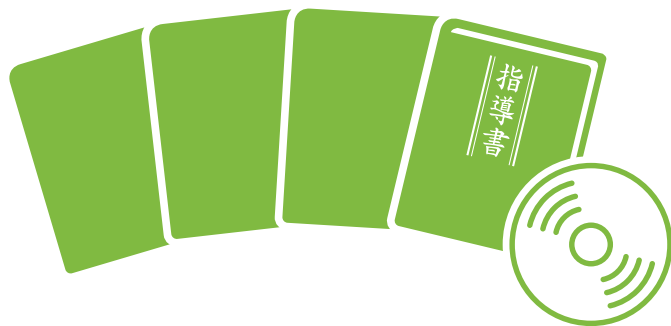
■ 学習課題ノート 本体価格五〇〇円（税別）

教科書準拠のワークブックです。別冊解答には、自習にも使える詳しい解説が付いています。

訓点の編集



「漢文エディタ」





## デジタル教科書

## 指導者用デジタルテキスト

## はじめに

## ●教科書の内容を最大限に活用すること

デジタルテキストでは、教科書本文の拡大提示、付録や図版資料のインデックスおよびその拡大提示など、教科書の内容を提示用の素材として、最大限に活用することをコンセプトに制作いたしました。

## ●CoNETSビューア

平成29年度版からは教科書会社12社が参画して開発した共通プラットフォームCoNETSビューアでのご利用になります。

▶CoNETSについて (<http://www.conets.jp/>)

CoNETSビューアでは、先生ごとにユーザーを登録することで、書き込み情報や履歴などをそれぞれに保有することができます。



※画面サンプルはすべて「精選国語総合」となっております。

CoNETS版 三省堂は、CoNETSプラットフォームを通じてデジタル教科書を提供してまいります。

指導者用デジタルテキスト (校内フリーライセンス) ※1			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版	教科書利用期間一括 ※2	40,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード
学習者用デジタルテキスト (1端末1ライセンス) ※3, 4			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版 / iOS版	教科書利用期間一括 ※2	1,500円+税	ダウンロード

※1 校内のすべての端末にインストール可能です。なお、価格は1学年の価格です。

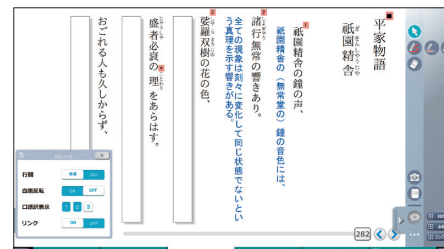
※2 収録されている検定教科書の使用期間中にご利用いただけます。

※3 教師用デジタルテキスト購入校のみ購入できます。

※4 インストールする端末(1端末)ごとにライセンス料金をお支払いいただけます。

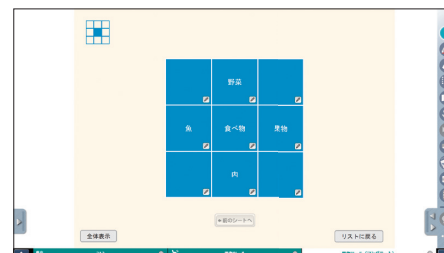
## 指導者用 豊富なコンテンツで授業をサポート

## ■本文解説



本文の口語訳のon/offができます。マスクをはがしながら表示することもできます。

## ■思考ツール



デジタルテキストオリジナルのコンテンツも多数収録しています。

## ■コンテンツ一覧



「フラッシュカード」「図版資料」「人物相関図」など、さまざまなコンテンツを収録。

## ■オンライン辞書



授業での提示に特化した指導者用の辞書サイトをデジタルテキストのリンクからご利用いただけます。

## ●動作環境 指導者用 (2017年4月現在)

Windows版	
OS	Windows 7 SP 1 / Windows 8.1 / Windows 10 (32bit / 64bit 対応) ※1
ブラウザ	Internet Explorer 11
CPU	Intel Core i3以上推奨
メモリ	4GB以上
空き容量	4GB以上(ビューア1GB+教材3GB)
モニタ	True Color (32bit) ※2
その他	.NET Framework 4.5以降 Aero設定: ON ※2

※ Microsoft, Aero, Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※1 Windows RT には対応しておりません。

※2 Windows 7 の場合のみ。

動作環境や導入にあたっての条件等は、CoNETSのWebサイトにて最新の情報をご確認ください。 <http://www.conets.jp/>

学習者用デジタルテキスト についての特徴や動作環境など、

その他詳細な情報は三省堂教科書・教材サイトをご覧ください。

●体験版DVD-ROMのお申し込みはeメールにてご連絡ください。  
eメールアドレス: [info-tbdt@sanseido-publ.co.jp](mailto:info-tbdt@sanseido-publ.co.jp)

★三省堂教科書・教材サイト  
<http://tb.sanseido.co.jp>

